

造る さっぽろ圏の 新しい100年

一般社団法人 札幌建設業協会
会長 岩田 圭剛



一般社団法人札幌建設業協会は、1916年(大正5年)に設立して以来、北海道の発展とともに歩み、本年創立百周年を迎えます。

北海道には豊かな海や森林、そして湿原、河川、湖沼などが織りなす雄大な自然があり、先人達は、この貴重な財産である自然を守りつつ、厳しい北の大地を切り拓き、今や世界に誇れる食と観光を資源とした地域へと育んできました。この原動力は、道都や道央圏の発展とともにあり、先見性のある整然とした札幌市の計画的なまちづくりやスポーツ・文化を自由な発想で受け入れるその風土や気質とともに、社会資本整備の推進役としての建設業の地域への想いなどが調和して生まれたものと言っても過言ではありません。

当協会の前身組織である「札幌土木建築請負業組合」は北海道の拓殖計画による建設ラッシュを受けて大正初期に創立し、札幌をはじめ北海道における建設業の社会的地位の向上や会員相互の親和協力を図りながら、地域社会と地域経済の発展に大きな役割を演じてきました。河川の氾濫や豪雪など毎年発生する自然災害に対しても迅速な応急復旧活動など住民の安全・安心を支える役割も惜みなく果たしてきました。

一方、高度成長時代を終え、経済社会的に成熟した21世紀に入り、これまでの公共投資政策や長寿命化など社会資本整備の在り方について、様々な議論がなされています。こうしたことから、「安全で豊かな暮らしを支える建設業」に向かって、今一度将来を見据えて、会員企業が心を一つにして地域のために行動していくことが重要であります。

私たち一般社団法人札幌建設業協会は、関係者の皆様からのこれまでのご協力とご支援に感謝し、創立百周年を契機に、「3つの心」と「5つの行動」を胸に刻み、地域を支え、地域と共に栄える建設業を目指していくことを決意し、この行動宣言をメッセージとして地域の皆様に広く発信します。

地域とともに 次の100年へ

(一社)札幌建設業協会は北海道の歴史とともに歩んで100年
次の100年を作るための「行動宣言2016」として
「3つの心」と「5つの行動」を宣言し
地域と建設業のさらなる発展を目指します

北海道建設業
将来ビジョン(要旨)

北海道の礎を創り、 地域をまもり、未来を創る

<平成28年5月:(一社)北海道建設業協会策定>

建設業の役割は、地域を創り、地域に貢献し、地域と共に生きることであり、「公益的」産業であると
考えています。

「北海道建設業の将来ビジョン」では、北海道商工会議所連合会が策定した「北海道成長戦略ビジョン」
で示した未来の北海道を実現することを目的に、建設業が役割を果たすこと、役割を果たすために現
在の建設業の課題である担い手確保・育成、生産性向上、イメージ改善などを自ら努めることとしてい
ます。

そして、これからの100年を迎えるにあたり、北海道建設業協会は地方協会とともに、地域と建設業が
ともに働く「協働」、建設業相互が競い合って地域を創りだす「競創」、建設業相互がつりあいの取れた
「協調」を実践躬行し、そして、「パンドラの箱」の隅に隠れている「希望」を北海道に招き入れる役割を
果たす誓いをメッセージとしています。

3つの心

札幌建設業協会のスピリット

歴史に残り、心に残り、地域に残る建設業のために
地域を支える建設業として心にとどめておきたい
3つのスピリットを定めました

ものづくりの心

法令遵守を徹底し
常に高い品質を目指す
技術者集団たる
気概をもつこと

人をまもる心

住民に信頼され
地域の安全・安心を
確保する意識を
もつこと

地域づくりの心

環境に配慮し
豊かな地域づくりに
貢献する
考えをもつこと

5つの行動

札幌建設業協会 アクション

地域を支える建設業のために
北海道の豊かな自然と調和し
地域の安心安全を支える
具体的な行動規範を定めました

1

環境問題に対応し
優れた技術により
高い品質を確保します

- ・廃棄物の適正処理など地域の環境に配慮し地球環境問題に対応する
- ・建設技術を駆使して高い品質と生産性を確保し良質なインフラを供給する

2

労働環境の整備に努め
担い手の確保・育成を
推進します

- ・労働時間や賃金の改善など心身ともに快適な職場環境づくりに努める
- ・将来にわたる担い手の確保・定着・育成に取り組み建設技術の継承を図る

3

コンプライアンスと
安全管理の徹底に
努めます

- ・法令遵守はもとより、企業倫理の確立に取り組み公正・透明な事業活動を行う
- ・反社会勢力排除に厳正に対処するとともに安全管理体制の徹底を図る

4

災害への
迅速な対応に努め
地域強靱化を支援します

- ・官公庁との災害防止協定に基づき迅速な応急復旧活動に努める
- ・BCPの整備・高度化に努めるとともに地域強靱化の取り組みをサポートする

5

建設業の魅力を発信し
地域の振興と
発展に貢献します

- ・建設業の魅力をわかりやすく発信し正しい理解と知識の普及に努める
- ・地域づくりやまちづくりの取り組みに積極的に参加し地域の発展に協力する

行動宣言の実現に向けて

協会の日の設置

毎年5月30日
会員の結束力強化
社会貢献活動推進

活発な委員会活動

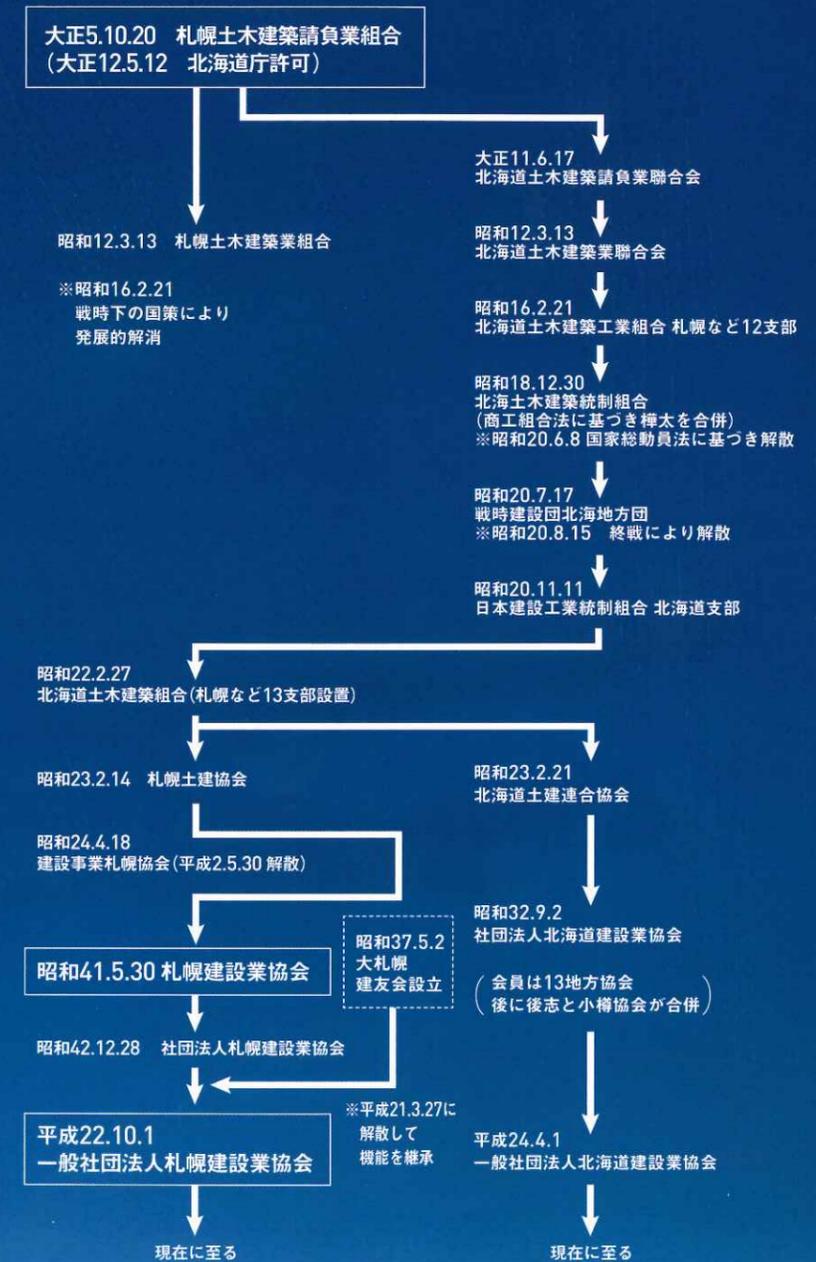
担い手育成の強化
災害・強靱化対応
委員会の体制強化

積極的な情報発信

広報ツールの整備
建設業の魅力発信
戦略的広報の推進

(一社)札幌建設業協会の概要・沿革

〈創立以来の組織変遷〉



1. 沿革

明治34年度からの北海道の拓殖計画「10ヶ年計画」を受けて、大規模な土木工事が展開され、本格的な請負工事が急増し、これに対応するため大正5年に「札幌土木建築請負業組合」が発足した。以来幾多の組織の変遷を伴い、昭和41年5月30日に「札幌建設業協会」が設立され、法人化を経て現在に至っている。(右図参照)

2. 設立目的

建設業に係る調査研究、研修会等の開催、普及・啓発等に関する事業を行い、建設業界の健全な発展及び地位の向上を図るとともに、社会資本整備の推進に貢献し、もって北海道産業の振興及び発展並びに公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

3. 組織 (平成28年3月末現在)

